

関わる楽しさ・役立つ喜び・技を伝える使命

地域のエキスパートが、あるいは一般の町民の方々が、学校の子どもの学習や活動にかかわってお子どもを取り巻く地域でも子どもを育てていこうとする心意気が伝わってきます。24年度下諏訪南小学4月にクラス替えになった学級にとってはよいまとめになったことでしょう。

手伝いいただき、支えてくださっています。家庭や学校ばかりでなく、校3年2組の「みずべの時間」の活動からご紹介しましょう。



生涯学習

No.470

かおり高い 文化のまち

平成24年度南小3年2組 みずべの時間（総合的な学習）
わたしたちの大豆 & 大豆の大変身

わたしたちの大豆



種まき 6/8



間引き 6/25

草取り・害虫の駆除



殻と豆をわける 11/30



収穫する 11/30

東赤砂 林 信夫さん
農業委員として、畑を借りるところから脱穀までの、大豆ができるまでをお手伝いさせていただきました。子どもたちは大豆の面倒をよく見て、熱心に取り組んでいました。先生も一生懸命でした。よかったですと思います。

上久保 昌明さん
子どもたちと農業委員で、大豆作りをすることになりました。味噌作りと豆腐作りをするための大豆を作るお手伝いをするのですが、前年にも大豆を作ったのですが、収穫はゼロと聞いていました。

草だらけの有休畑を種まきができるように整理して、全員でうねを立て大豆をまきました。「並んで」の先生の一言で、それまでにぎやかだった子どもたちは静かになり、「お願いします」と全員で大きな声で挨拶をし、作業が始まりました。こんなことが何回かあり、秋には満足とはいかないが、それでも多少の収穫ができました。お礼の会では、進行がスムーズで、全員で協力してでき、感心しました。

東赤砂 林 ヤエ子さん
「豆腐作りを教えてほしい」との先生からの依頼があったので、以前作ったことを思い出して、子どもでも楽にできる方法を試作してから学校へ行きました。子どもたちは、みんなで協力し合い張り切って作っていました。絞った豆腐を水に放した時の喜ぶ顔、試食での「おいしい」の声にほっとしました。お礼の会で、「豆まきから収穫、みそ作り、豆腐作りを寸劇や歌で発表してください、お役に立てたことを嬉しく思いました。」

子どもの声
大豆を作ったよかったですなと思いました。なぜかというところ、大豆を作った農業委員さんと会って、その味噌で「三角八丁」で駅長さんに会って、「豆腐を作った時林さんと松沢さんに会って、林さんは農業委員の林さんの奥さんで、本当にすごいです。大豆でつながった感じがします。だから僕は、大豆を作ったよかったですなと思いました。」

大豆の大変身



豆の重さを測る6/19



味噌の蔵出し 9/20



三角八丁 とん汁やさん10/13



手作りみそやさん12/20



豆腐作り 2/28

担任の先生の声
大豆栽培を通して、子どもたちだけでなく、私自身も多くのことを学ばせていただき、素敵な経験をさせていただきました。（古屋ともよ 教諭）

みそやさん 佐々木一夫さん
このクラスは、味噌造りを指導した中で一番の低学年でしたので何かと心配でしたが、皆本心に熱心で、自ら質問してくる様子に感心しました。そして、一年目から本職も驚く美味しい味噌ができました。
「さらに美味しい味噌を多くの人に食べていただきたい」との子どもたちからの希望で、二年目の味噌造りとなりました。味噌の出来はもちろんです、発表会でのオリジナルの大豆の歌や劇の発表の素晴らしさに感銘を受けました。熱心な先生をはじめ保護者や農業委員さん等、周囲の皆様からの愛情を一杯に受け育った子どもたちに未来への希望を見、元気をいただきました。

柳澤下諏訪駅長
駅前にとん汁店を開いて頂いたので、たくさんの方が駅に来てくださいました。「とてもおいしい」と言ってもらえたのは、三年二組の皆さんが協力して一生懸命頑張ったからです。心を打たれ、感動しました。

「去年作ったのよりおいしい味噌をつくりたい」と願って、味噌づくりをしました。大豆の収穫前なので、教員に来てくださったみそやさんの大豆を使ってやりました。できた味噌を使って、三角八丁には、駅前にとん汁店を出しました。駅長さんが、店の名前の横断幕を作ってくださいました。また校内でみそやを開設し、先生方に買っていただきました。校長先生も買っていただきました。最後は、自分たちが収穫した大豆を使って、豆腐を作りました。とてもおいしい豆腐でした。

東赤砂 松沢 邦江さん
子どもたちがとても意欲的でした。県の「大豆百粒運動」がきっかけになり、そのお手伝いできてよかったです。「おいしいお豆腐になった」という子どもたちの一言が嬉しかったです。